

関係者評価

- ・家庭での基本的な生活習慣の大切さは、低学年の時に何度も伝えていくことも大切。
- ・学校教育目標の中の4つの力については家庭とも一緒に考えて取り組めたら良い。
- ・行事の手伝いなどでも地域の方の手が増えていくと良い。
- ・保護者のみなさんのご意見は学校に対する要望であり、さらに良い学校に、と思つてのことととらえてほしい。
- ・500人いる子どもの10%は50人であり、20%は100人である。学校は楽しくないと答えている20%の存在も軽視できない。100%を目指してほしい。
- ・保護者の個々の要望は尊重しつつも、バランスを考えて学校運営を進めてほしい。
- ・保護者アンケートの回収率については上がるよう工夫をしてほしい。
- ・自由記述のご意見については、できることとできないことをわけて取り組んでほしい。
- ・学校が全てを担うのではなく、保護者と一緒に活動したり、一緒に考えていくという意識が必要であり、それがコミュニティスクールの目指しているところであると思う。
- ・見守りをしている地域の方々も学校に出入りするときはきちんと門を閉めるなど、不審者対策について気をつけていきたい。コミュニティスクールが保護者のみなさんに浸透できるようPRが必要と感じている。
- ・学校における「働き方改革」は子どもにとってプラスになることが前提であり、教員が楽をするためと思われぬように進めていく必要がある。